



2025年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社パルマ
コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 純一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 赤羽 秀行

TEL 03-3234-0358

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績(2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	497	8.7	14	279.6	32	300.7	20	
2024年9月期第1四半期	457	11.8	3		8		5	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	3.08	3.08
2024年9月期第1四半期	0.77	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	3,550	2,319	65.3
2024年9月期	3,544	2,338	66.0

(参考)自己資本 2025年9月期第1四半期 2,318百万円 2024年9月期 2,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		0.00		6.00	6.00
2025年9月期					
2025年9月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	200.8	350	148.2	210	162.5	31.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社の業績はターキーソリューション事業におけるセルフストレージ施設等の売買動向によっては収益が大きく変動する可能性があり現時点における通期予測については不確定要素が多いことから、合理的に仮定された条件に基づいて算出された「業績予想」に代えて、当社の2025年9月期の経営目標である「業績目標」を開示しております。

なお、本日公表の中期経営計画において、2025年9月期「業績目標」の営業利益を公表したため、営業利益を追記しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期1Q	6,765,489 株	2024年9月期	6,765,489 株
期末自己株式数	2025年9月期1Q	348 株	2024年9月期	348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年9月期1Q	6,765,141 株	2024年9月期1Q	6,752,445 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかに回復しております。しかし、賃金水準を上回る物価上昇やアメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる地政学リスクなど国内外における経済的な見通しは先行きへの不透明感が継続しております。このような状況の中、当社は、ビジネスソリューションサービス（セルフストレージ（トランクルーム）賃料債務保証付きBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・ITソリューションサービス等）の受託伸長と、ターンキーソリューションサービスにおけるトランクルーム施設の投資開発の推進及び運営施設の稼働向上に加え、施設開業コンサルティングや収納物撤去・整理関連サービスなどの新規注力サービスの拡販に向けた活動を進めてまいりました。

以上の結果、当1四半期累計期間の業績は、売上高は497,464千円（前年同四半期比8.7%増）となりました。損益面では、営業利益は14,557千円（前年同四半期比279.6%増）、経常利益は32,058千円（前年同四半期比300.7%増）、四半期純利益は20,830千円（前年同四半期は5,183千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当第1四半期累計期間は、既存事業者による当社サービスの追加導入や大手事業者による新規導入などに加え、堅調なセルフストレージの利用動向を背景に、賃料債務保証付きBPOサービスやWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入が伸長、当第1四半期会計期間の本サービス新規契約件数は9,109件（前年同四半期比4.6%増）当四半期末時点の主力サービスの賃料債務保証付きBPOサービス受託残高は130,203件（前期末比1.3%増）となりました。

さらに、ジェイアール東海静岡開発株式会社等の異業種からの新規参入者向けの本サービス導入や、セルフストレージ以外のビジネス領域を対象とした債務保証サービス展開に向けた検討など、今後の事業機会の拡大・創出に向けた施策も進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は353,038千円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は119,200千円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当第1四半期累計期間は、「横浜市神奈川区泉町」に一棟屋内型セルフストレージ施設開発用地を、東日本を中心に5か所にてコンテナ型トランクルーム出店に着手するなど、施設の新規開発の積極化を進めました。

さらに、昨年3月開業の八幡西郵便局（福岡県）に続き、宇都宮南郵便局（栃木県）・牧志郵便局（沖縄県）内におけるセルフストレージ出店に向けた開業サポートを開始するなど、資本提携先の日本郵政キャピタル株式会社が属する日本郵政グループのとの事業共創も進展しております。

当第1四半期累計期間は、前事業年度より本格スタートしたセルフストレージ施設開業・出店コンサルティングの新規事業参入者や既存事業者向けの拡販や、運営施設の賃料収入の増加（前年四半期比19.3%増）が収益に貢献いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は144,426千円（前年同四半期比9.3%増）、営業損失は60,177千円（前年同四半期は60,391千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて5,650千円増加し、3,328,327千円となりました。これは主に、仕掛販売用不動産が292,024千円増加する一方で、法人税等の納税等により現金及び預金が279,074千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて338千円増加し、222,330千円となりました。これは主に繰延税金資産が1,258千円増加する一方で、ソフトウェアの償却により無形資産が1,244千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて5,989千円増加し、3,550,657千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて101,509千円減少し、505,131千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金13,998千円増加する一方で、未払法人税等が49,649千円、その他の流動負債が70,129千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて127,251千円増加し、726,405千円となりました。これは長期借入金127,251千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて25,741千円増加し、1,231,537千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて19,752千円減少し、2,319,120千円となりました。これは主に、配当金の支払40,590千円及び四半期純利益20,830千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より0.7ポイント下落し65.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の通期業績目標につきましては、変更はございません。

なお、本日、2027年9月期を最終年度とする中期経営計画「改革2027」を公表いたしました。『当社が有するユニークなセルフストレージサービスプロバイダーとしてのコア・コンピタンスの強化・発展により、事業成長とサステナブルな社会の実現に貢献する』ことを大方針に掲げ、本計画の方針に基づく各施策の実行によって、さらなる企業価値の向上を実現してまいります。

【中期経営計画「改革2027」 定量計画】

	2024年9月期 実績	2025年9月期 目標	2027年9月期 計画
売上総利益	8.9億円	13.6億円	18億円
営業利益	1.2億円	3.7億円	6億円
ROE	3.5%	7%	10%
配当性向	50.2%	40%	40%

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,484,413	2,205,339
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	115,734	117,301
求償債権	432,747	462,040
販売用不動産	241,859	241,799
仕掛販売用不動産	120,273	412,298
その他	143,978	137,395
貸倒引当金	△217,680	△249,197
流動資産合計	3,322,676	3,328,327
固定資産		
有形固定資産	37,696	37,920
無形固定資産	19,991	18,747
投資その他の資産	164,303	165,663
固定資産合計	221,991	222,330
資産合計	3,544,668	3,550,657
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	191,337	205,335
未払法人税等	65,137	15,488
契約負債	104,930	109,201
その他	245,236	175,106
流動負債合計	606,641	505,131
固定負債		
長期借入金	524,904	652,155
転貸損失引当金	63,853	63,853
その他	10,397	10,397
固定負債合計	599,154	726,405
負債合計	1,205,795	1,231,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,318	600,318
資本剰余金	510,767	510,767
利益剰余金	1,227,042	1,207,282
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,337,955	2,318,195
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15	23
評価・換算差額等合計	15	23
新株予約権	902	902
純資産合計	2,338,873	2,319,120
負債純資産合計	3,544,668	3,550,657

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	457,577	497,464
売上原価	267,573	278,898
売上総利益	190,003	218,565
販売費及び一般管理費	186,168	204,007
営業利益	3,835	14,557
営業外収益		
受取利息	1	88
投資有価証券売却益	6,721	19,472
その他	40	120
営業外収益合計	6,764	19,681
営業外費用		
支払利息	2,597	2,157
その他	1	23
営業外費用合計	2,598	2,181
経常利益	8,000	32,058
特別損失		
関係会社株式評価損	9,967	—
特別損失合計	9,967	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,966	32,058
法人税、住民税及び事業税	4,962	12,489
法人税等調整額	△1,746	△1,261
法人税等合計	3,216	11,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,183	20,830

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	320,884	24,650	345,535	—	345,535
その他の収益	4,561	107,480	112,042	—	112,042
外部顧客への売上高	325,446	132,131	457,577	—	457,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	325,446	132,131	457,577	—	457,577
セグメント利益又は損失 (△)	106,168	△60,391	45,777	△41,941	3,835

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△41,941千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	347,964	12,054	360,019	—	360,019
その他の収益	5,073	132,371	137,444	—	137,444
外部顧客への売上高	353,038	144,426	497,464	—	497,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	353,038	144,426	497,464	—	497,464
セグメント利益又は損失 (△)	119,200	△60,177	59,023	△44,466	14,557

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△44,466千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産等に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,949千円	3,760千円